

スーパーグローバル大学創成支援事業 中間評価結果

大 学 名	京都大学
整理番号	A08
構 想 名	京都大学ジャパングートウェイ構想

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) <p style="margin-top: 10px;"> 本構想は、「世界的に卓越した知の創造と継承を行う大学」との基本理念を発展的に位置付け、卓越した研究分野における国際共同教育プログラム・国際共同学位プログラムの実施により、「徹底した大学院教育の国際化」を推進し、欧米及びアジアのトップレベル大学との間に構築する「ワールドプレミアム高等教育ネットワーク」のジャパングートウェイ（ハブ的存在の大学）となることを目的とするものである。 </p> <p style="margin-top: 10px;"> 国際戦略の司令塔として、各施策の企画・立案を行う国際戦略本部を設置し、トップマネジメントによる国際化推進体制の整備を進めている。また、構想時の計画に基づき、スーパーグローバルコースの設置、ジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリーの開設・拡充を進め、研究科等からの科目提供に基づき実施している「研究科横断型教育プログラム」に対し、スーパーグローバルコースの国際共同実施科目 84 科目のうち 49 科目を他専攻・他研究科に提供するなど、学内への展開が図られている。さらに、世界トップレベル大学の研究者を「特別招へい教授」として任用し授業や学生指導を担当させる取組や、世界大学ランキングトップ向上のための重点研究分野の設定、海外ネットワーク拡充による国際的評価の向上を目指した取組も、グローバル化に大きく資するものとして評価出来る。 </p> <p style="margin-top: 10px;"> 一方で、スーパーグローバルコース、ジョイント・ディグリー・プログラム、ダブル・ディグリープログラムへの参加者が限られていることから、今後その人数を増やす必要がある。また、日本人学生に占める留学経験者の割合と、大学間協定に基づく派遣・受入れ交流数に関しては、目標自体が消極的であるにも関わらず数値目標を下回っていることから、大いに改善が望まれる。若手人材海外派遣事業「ジョン万プログラム」の更なる活用や、履修制度の改善に向けた柔軟な対応を期待したい。 </p> <p style="margin-top: 10px;"> 本事業終了後の資金計画が整えられている点や、「ワールドプレミアム高等教育ネットワーク」等の国際ネットワークを構築し、効果的に活用している点は高く評価出来る。今後、豊富なネットワークの連携により得られた成果が大学の教育・研究力と国際的評価の向上にフィードバックされることを期待する。 </p>	